

(主催：学術情報センター図書館)

物臭太郎杯読書感想句コンクール 投票結果発表



本学の図書館（総合図書館中百舌鳥、経済・経営・法律系図書室、ヒューマンサイエンス系図書室、羽曳野図書センター、りんくう図書室）所蔵の本を題材に、その内容をユーモアや風刺のセンスで表現した読書感想句（川柳）を募集し、応募作品の中から入選作品 10 句を選出。さらに、その 10 句を対象に人気投票を実施しました。栄えあるベスト3はこちら！

物臭太郎賞は、投票数 54 票の内、13 票を獲得した 「真・夏休み」さんの読書感想句に決定！



【投票理由】※一部抜粋

「安部公房のこの作品は未読だけれど、ぞくっとする感じに、読んでみたいと思ったので。うまいこと言うなあ、という印象。」
「読んでみたくなりました」
「私は実際にアリジゴクを見たことがあり、この句を見たときにアリジゴクがそう言っている想像ができたから。」

『砂の女』安部公房著

蟻地獄
住めば都と
蟻が云う
(真・夏休み)



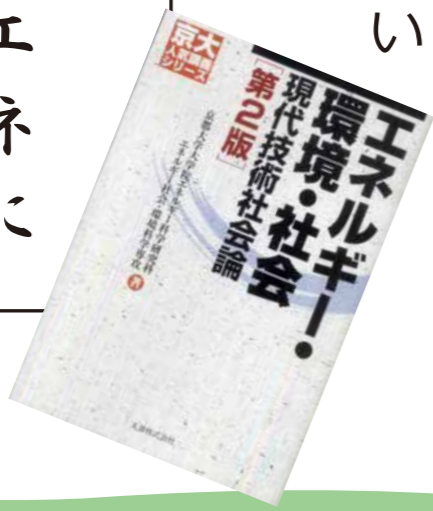
金賞は、得票数 12 票の 「テンプル」さんの句！

【投票理由】※一部抜粋

「うまくかかっているし、本の内容も気になったから」
「上手く環境問題の課題をとらえていると思った」

『エネルギー・環境・社会』現代技術社会論』
京都大学大学院エネルギー科学研究科
エネルギー社会・環境科学専攻著

省エネよ
果たして消エネに
ならまいか
(テンプル)



銀賞は、得票数 9 票の 「穂名一瑚果」さんの句！

【投票理由】※一部抜粋

「研究者をめざす学生にぜひとも読んでほしい。マリア・スクオオドフスカ氏とは、マリー・キュリー氏のことです。」
「キュリー夫人と呼ばれがちなあの人の「科学者」としての話に興味があったから」

『マリー・キュリーの挑戦...
科学・ジェンダー・戦争』川島慶子著

夫人、夫人と呼ばないで
わたしは科学者
名はマリア
(穂名一瑚果)

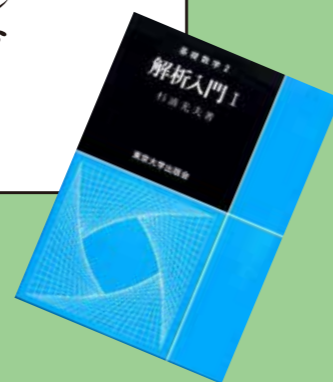


上記以外の入選作品

『三四郎』夏目漱石著
優男
都と女
彷徨えば
(ののみや)



『解析入門』杉浦光夫著
デデキント
講義聞けども
理解できんど
(a@b)



『金属材料組織学』松原英一郎「ほか」著
熱輸送
温度勾配
平滑化
(おしりもげ)



『悪童日記』アゴタ・クリストフ著・N社茂樹訳
だれのため？
しるす日記は
ありのまま
(ジュゴン)



『試験に受かる「技術」... 灘高が教えてくれた「超」合理的メソッド』吉田たかよし著
ミスに位く
そんな人への
処方箋
(世部春人)



『恋文の技術』森見登美彦著
言わずとも
忍べはしない
恋心
(モリタ)



『ゆる自炊BOOK... 料理って意外に簡単らしい...
ヒギナーさんいらっしやい』比留間深雪編集
料理って
意外とズボラで
良いんだね
(お丁使えない系女子?)



before 超ひきこもり



物臭太郎とは・・・

たいへん物臭な太郎が、歌や連歌の才能によって、立身出世する御伽草子。総合図書館中百舌鳥では、もと冊子本であったものを巻子に改装したものを所蔵。本巻は絵巻系の中でも最も原絵巻に近いもので、且つ書写年代も原絵巻の成立時よりそれほど時間が経過していない時のものとされ、慶長期を下らぬ頃のものとなっています。

実はイケメン after

